

# 岸田内閣支持最高59%

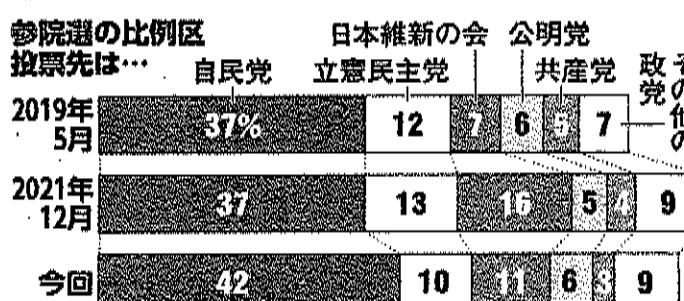
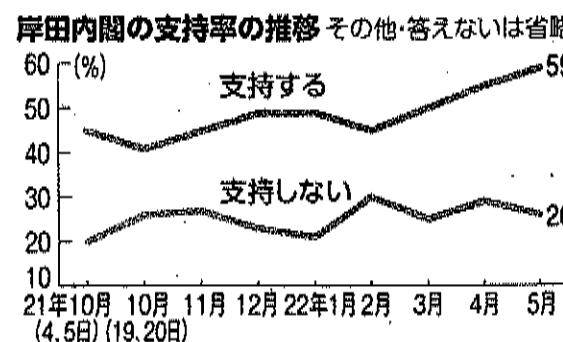
**比例投票先** 自42% 維11% 立10%

朝日新聞社は21、22日に全国世論調査（電話）を実施した。岸田内閣の支持率は59%（前回4月調査は55%）で、政権発足以来最高となった。また参院選での比例区投票先は、自民党の42%（同41%）がトップで、日本維新の会13%（同13%）、立憲民主党10%（同12%）を大きく離した。▼3面「野党期待できる」13%、30面「屋外のマスクは

内閣支持率について無党派層からは43%、立憲や維新的支持層からも4~5割

の支持があった。年代別では70歳以上が69%と高かった。不支持率は26%（同29%）だった。

新型コロナウイルスをめぐる政府対応については、「評価する」62%（同58%）が「評価しない」32%だった。



答えない・分からないう省略

## 本社世論調査

（同42%）を上回り、これが歴代政権で最高となった。立憲支持層でも7割が「評価する」と答えた。

また、仮にいま参院選があつた場合、比例区でどの政党、またはどの政党の候補者に投票するか聞いたところ、自民は2月の34%から増え42%だった。年代別では18~29歳で56%と高かつた。無党派層の23%が自民に投票すると答えた。

維新は昨秋の衆院選後に立憲を上回り、その後も10%台を維持している。年代別では30代で維新22%、立憲5%の一方、70歳以上で維新8%、立憲14%となっている。東京で維新9%、立憲13%だったが、大阪では維新35%、立憲3%。今夏の参院選で与党が議席を増やしたほうがよいと思うかも尋ねた。「今とあまり変わらないままがよい」が40%で、「与党が議席を増やしたほうがよい」の20%を合わせ全体の6割を占めた。「野党が議席を増やしたほうがよい」は32%で、参院選があった2019年5月の34%と同水準だった。